

## 様式第3号(第12条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第9回吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議
開 催 日 時	令和元年11月13日(水) 午前11時35分から 午後12時15分まで
開 催 場 所	吉川市役所304会議室
出席委員(者)氏名 (名簿順標記)	星座委員、互委員、鷹委員、杉浦委員、鈴木委員、 柳澤委員、金井委員、濱本委員
欠席委員(者)氏名	野口委員、宮田委員、糸井委員
担当課職員職氏名	こども福祉部 伴部長 障がい福祉課 加藤課長、砂川係長、鈴木主事
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 4 その他 5 閉会 会議は公開とする
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	—
傍聴者の数	3名
会議資料の名称	資料 「市内障がい者の今後の就労支援、グループホーム等のニーズに関する調査」について
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	杉浦委員、鈴木委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

## 1 開会

## 2 あいさつ

委員長) 議事に入る前に、視察の感想をお願いします。

### 【視察施設】

千葉大学植物工場

### 【感想(まとめ)】

- ・農業の発展を感じることができた。障がい者の就労とどのように繋げていくかが課題。
- ・千葉大学では国や企業から補助を受けているため規模が大きい。吉川市で実現するためには予算等の問題が出てくるのではないか。
- ・ある程度大きな規模で実施しないと収益化は難しい。
- ・屋内で作業ができるため、車いすの方でも作業が可能。

市長) 千葉大学とは連携の話を進めている。また、市内の青年農家とも視察を行った。まずは、周知を目的としたモデル施設をつくる予定。最終的には、企業と手を組むなどして千葉大学と同等の規模でやりたいと考えている。そこで収穫・箱詰め等、障がい者就労に繋がればと思う。

## 3 議事

「市内障がい者の今後の就労支援、グループホーム等のニーズに関する調査」について

事務局より資料に基づき説明。

事務局) 実施時期については令和2年6月から8月と記載しているが、予算確保等の準備が整い次第、速やかに実施する。

市長) 本検討委員会で議論・検討している内容は当事者には伝わっていないように感じる。実施するアンケートには、検討内容等の経過を記載し、当事者に熱心に考えていただけるようなものとしたい。

また、検討委員会の輪を広げていきたいと考えているため、委員の皆さまの了承を得られれば、特別支援学校のPTA等を委員として迎えていきたい。

#### 4 その他

市長) 先日、市内グループホーム「おくら」「リリーフハウス」の視察を行った。

「おくら」の視察では、消防法の関係でGHの指定基準を満たした物件の確保が難しい旨伺った。

「リリーフハウス」の視察では、建物(一軒家)は借家で、毎月オーナーに家賃を支払うといった運営形態について話を伺った。

#### 【提案(要検討)】

- ① GH指定基準を満たした物件の情報を不動産会社から市が一括で情報を得られないか。(法人と不動産会社の仲介)
- ② 保護者が一軒家を購入し、GH運営を法人等に任せる(保護者は家賃収入を得る)手法であれば、保護者がGHをつくるのが容易になるのではないか。

以上2点についても今後検討してほしい。

#### 5 閉会

以上、会議の内容に相違ない事を証するため、ここに署名する。

令和元年12月12日

署名委員 杉浦 道子(自署)      署名委員 鈴木 平(自署)